

令和7年度 第1回富士市建設産業活性化協議会

日時：令和7年6月9日（月）午後2時00分から
場所：富士市役所 消防庁舎3階 研修室

次 第

- 1 挨拶
- 2 規約の改正について
- 3 今年度の取組について
- 4 意見交換
- 5 閉会

-
- | | |
|-----|-----------------|
| 資料1 | 次第 |
| 資料2 | 出席者名簿 |
| 資料3 | 座席表 |
| 資料4 | 規約（案） |
| 資料5 | 説明資料 |
| 資料6 | ワーキンググループメンバー一覧 |



(案) 令和7年度 第1回富士市建設産業活性化協議会 令和7年6月9日(月)



～ふじしをつくる未来をまもる～
富士市建設産業活性化協議会



令和7年度 第1回富士市建設産業活性化協議会

本日説明すること

1 今年度の取組

2 今後のスケジュール



～取組に向けての共通事項～

- 各WGメンバーは市職員と建設業界参加者と同等数とする。
⇒市職員 5名、富士市建設業組合 3名、富士市水道指定工事店協同組合 1名、
（一社）静岡県測量設計業協会 1名
⇒各ワーキングに関する富士市専門部署職員は、サポートメンバーとして参加
- （仮称）建設産業活性化計画を策定する。
⇒協議会活動を継続していくために、WGの各リーダーや各団体事務局が集まり、それぞれの課題を共有し合う場を設け、各WGの取組に対する目標や検討スケジュールを明確にする。
⇒各取組について、建設業界・行政間での情報共有及び共通認識の形成を図る。
- 富士市における建設DX（新技術）の推進、技術職員のスキルアップ、契約や工事に関する情報を収集・発信していくことなどを担う新部署の設置については、引き続き庁内で検討していく。



働き方改革ワーキング

～基本方針～

- 働き方改革を推進するためには、請負契約制度の改善が大きく寄与するため、まとめて議論
⇒働き方改革ワーキングや協議会での意見を請負契約制度検討委員会の中で検討

～今年度の取組～

- 働き方改革への理解を深める方法検討
- 検査方法の検討（室内での書類検査の推進、遠隔臨場など）
- 来庁機会の削減取組（電子契約の検討）

令和7年4月

入札契約制度に関する今年度の変更点（報告）

- 総合評価入札について
 - ⇒原則、「土木・管（上水道）工事」は5,000万円以上、「舗装工事」は2,500万円以上は総合評価入札で発注
 - ⇒工事成績表の加点をする対象工事を500万円→1,000万円に変更
 - ⇒優良工事主任技術者等の表彰対象年度を3年→5年に変更
 - ⇒舗装工事の配置技術者の保有する資格で「1級舗装施工管理技術者」を追加
 - ⇒建設キャリアアップシステムへの登録の有無を項目に追加
- 富士市小規模工事事務取扱要領の改定
 - ⇒小規模工事適用金額を130万円以上 1,000万円未満から200万円超 2,000万円未満に拡大
- 建設工事における情報共有システム活用要領の改定について
 - ⇒原則、2,000万以上の建設工事は、情報共有システムを利用
- 少額随意契約の上限額の改正
 - ⇒工事は130万円→200万円・委託は50万円→100万円に変更

5

生産性向上ワーキング

～基本方針～

- 富士市にマッチした生産性向上の取組について、調査、研究を進めていく。
- 地元のDX関連企業との連携も検討していく。
- DXは人手不足を補填するためのツールであるということも考慮する。

～今年度の取組～

- 情報共有システム等の導入拡大
 - ⇒システムの認知度向上に向けた方法検討
 - ⇒業務委託におけるシステムの活用、要領作成及び試行
- 遠隔臨場の要領作成及び試行
- デジタル化・ICT化の推進
 - ⇒ICT機器の利用に限定した発注者指定型工事の試験発注（土工）
 - ⇒BIM/CIM対応のPC環境整備検討（3/27 BIM/CIMを活用したCAD操作体験会を実施）

6

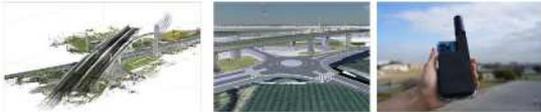
1 今年度の取組（生産性向上ワーキング事務局からの報告）

3/27

BIM/CIMを活用したCAD操作体験会

体験会内容

- ① 点群の読み込み、閲覧、加工、出力(Cloud Compare)
- ② CIMモデルの閲覧、計測、断面表示
- ③ GNSS搭載簡易計測機のデモ(LRTK Phone)



- 建設総務課で発注した「国道139号西富士道路新IC調査業務委託」では、当該地域の地形測量及び路線測量について3次元点群データを含む現地測量を行い、BIM/CIMを活用した予備検討を実施。
- BIM/CIMを理解することを目的に、また生産性向上WGの取組の1つとして、委託成果を使用したBIM/CIMを活用したCAD操作体験会を庁内WGメンバーを対象に実施。



7

1 今年度の取組

広報ワーキング

～基本方針～

- 小、中学生の目線に立ったPRを検討する。
- 広報のコンテンツについて、教育委員会（学校）への展開を検討する。
- 建設業界との更なる連携を進める。

～今年度の取組～

- PRグッズの更新
- 11月18日土木の日に合わせたPR
⇒2F市民課ホールでのポスター等の掲示
⇒SNSアクションへの参加（土木の認知度向上を目的とした全国的な取組）
- イベント・出前講座等によるPR活動（年4回程度）
⇒キッズジョブ、ふじ防災等
〔4/20（日）「はたらくるま大集合 in 富士山こどもの国」に参加〕
- PR動画の作製（年4回程度）



8

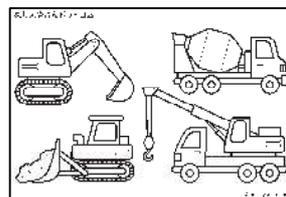
1 今年度の取組（広報ワーキング事務局からの報告）

4/20（日）
はたらくくるま大集合 in 富士山こどもの国

- ミニフォークリフト体験者数
⇒120人
- 当日入園者数
⇒3,205人（前年比500人増）



- 待ち時間でクイズに挑戦
⇒下水道マンホール動画に誘導



- 塗り絵シートを配布
⇒重機への興味を持たせる



1 今年度の取組（広報ワーキング事務局からの報告）

キッズジョブへの参加

キッズジョブとは

- 子ども達の職業観のきっかけづくりをすることを目的とし、様々な職業体験を通し、将来どんな仕事をしたいかを考えてもらい、また、学校で学ぶことと社会の仕事との関連、今しなければいけないことなどを理解してもらおうイベント
- 開催日時： 令和7年8月16日(土)・17日(日)
10:00~16:00
- 開催場所： ふじさんめっせ
- 動員実績： 令和6年度実績 4,013人
(土曜日2,019名、日曜日1,994名)

協議会としての参加について

- ミニフォークリフト体験を出展予定。
- 昨年度出展していた富士市建設業組合（ミニバックホー・ショベルカー）、(株)アイワ（水道工事体験）とタッグを組み、担い手を確保するためにPR活動を実施。
- それぞれのブースで富士市建設産業活性化協議会のPRグッズを配布予定。
- 3つのブースを隣接できるようにふじさんめっせと調整中。



キッズジョブ2024
※ふじさんめっせ
HPより

1 今年度の取組（広報ワーキング事務局からのお願い）

①ポスター用の写真を募集します



- 今年度も新しいポスターを作製予定
- **インパクトのある写真を募集します。**

②出前講座に協力いただける会社を募集します



- 富士市と民間会社が連携して出前講座を実施予定
- 対象は小学生高学年
- **児童が興味を持ってくれそうな題材を持っている会社のご協力をいただきたいです。**

③「まちあるきで学ぶ防災」イベントの開催



- 富士川橋開通100周年記念イベントとして、インフラ施設の解説を聞きながらウォーキングイベントを開催



- 秋頃に富士市で開催予定
- 静岡理工科大学と調整予定
- **産官学の連携イベントとして、進めていきたいのでご協力をお願いします。**

1 今年度の取組

防災ワーキング

～基本方針～

- 災害時における民間、国、県、市の連携を強化する。

～今年度の取組～

- 官民が連携した道路啓開訓練の継続実施
⇒9月の平日に大淵公園にて実施予定
⇒マニュアルに基づき、実効性を確認
⇒警察、電気、ガス業者等の参加も検討
- 現実に則した防災体制検討の継続
〔2/28民間、国、県、市による道路啓開に関する意見交換会を実施〕
⇒協定内容、行動マニュアル説明会の実施
⇒災害協定内容の見直し
- 各ブロック内の効率的な被害調査方法の検討
⇒土木職員の地区班配備案の検討



1 今年度の取組（防災ワーキングの報告）

2/28

民間、国、県、市による道路啓開に関する意見交換会

- (一社)富士建設業協会及び富士市建設業組合では、道路啓開に係わる災害協定を静岡国道事務所・富士土木事務所・富士市の3者と締結しているが、それぞれの協定書の内容は相違があり、災害発生時に取るべき対応が異なっており、非常事態に際して混乱を招く恐れがあることから、意見交換会を実施することとなった。
- なお、意見交換会は、今後も実施を継続する予定である。

第1回 道路啓開に関する意見交換会 出席者名簿

NO	会社名・役職	組合・協会・役職
1	岡澤建設 会長	富士市建設業協会 組合長
2	建設 代表取締役社長	富士市建設業組合 副組合長
3	興野 代表取締役社長	(一社)富士建設業協会 会長
4		富士建設業協会 専務理事 兼 富士市建設業協会 事務局長
NO	機関	
1	富士交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 総務課長 兼 富士交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 安全対策部	
2	富士交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 安全対策部	
3	富士交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 建設第一課長	
4	静岡県建設部 主任	
5	静岡県富士土木事務所 次長兼危機管理課長	
6	静岡県富士土木事務所 総務管理課長	
7	富士市 建設部 技監	
8	富士市 危機管理課 防災危機管理課 総務主任	
9	富士市 建設部 建設部副課 緊急主任	
10	富士市 建設部 建設部副課 主任	
	富士市建設業活性化協議会 事務局長	

富士市各班の災害時初期対応



1 今年度の取組

(仮称) 建設産業活性化計画の策定について

～基本方針～

- 協議会活動の継続性を目的として、わかりやすく整理する。
- 各WGの取組について、建設業界・行政間での情報共有及び共通認識の形成を図る。

～取組内容～

- 各ワーキングの取組項目を集約し、検討スケジュールを盛り込んだ計画を策定する。
- 取組項目に対して、決定していく内容、取組目標、スケジュールを明確にする。
⇒WGの各リーダーや各団体事務局が集まり、それぞれの課題を共有し合う場を設ける。

